

# 平成30年（2018年）HITSの10大ニュース

## 公益財団法人日立地区産業支援センター

### 1 日立地区産業支援センター、設立20年目を迎える。

平成10年10月1日の財団設立から今年で20年目を迎えました。また、来年4月5日には施設オープンから20年目を迎えることから、設立20周年記念事業として、2019年11月に全国の若手経営者や関係機関が集まる「全国若手ものづくりシンポジウムinひたち」のほか、お世話になっている方々への感謝の意を表する式典の開催を予定しています。詳細が決定次第、ご案内いたしますので、ご来場をお待ちしています。

### 2 ものづくり基礎技術研修に多くの方が参加

新入社員や初心者を対象とした、ものづくり基礎技術研修を行いました。図面の見方講座は、機械編（参加者53名）、製缶・溶接編（参加者29名）の2つの講座に分けて開催しました。また、ノギスやマイクロメーターなどの測定器取扱基礎研修については、定員の20名を上回る34名の参加申込があり、開催日を追加して実施しました。また、3D-CAD操作研修（参加者7名）、マシニングセンタ操作研修（参加者15名）についても、参加者から理解しやすいといった評価をいただいています。来年も多くの方の参加をお待ちしています。



測定器取扱基礎研修の様子

### 3 展示会出展で自社の製品や技術をアピール

今年は、新たに「次世代火力発電 EXPO (2/28～3/2)」に6社とともに出展しました。来場者数64,399名、私たちのブースにも約400名の来場があり、具体的な受注にもつながりました。

また、例年出展している「試作市場 (5/10～11)」及び「機械要素技術展 (6/20～22)」には、それぞれ6社が出展し、自社技術のアピールを行いました。



次世代火力発電 EXPO 出展風景

### 4 経済産業省の戦略的基盤技術高度化支援事業（通称 サポイン）に2件採択

- (1) 「IoTデバイス故障解析用プラズマ精密深掘り装置の開発」をテーマに(株)三友製作所、(国研)産業技術総合研究所及び茨城県産業技術イノベーションセンターの共同体で開発を進めています。
- (2) 「油圧機能内蔵金型による深絞りプレス成形技術の開発」をテーマに(株)大貫工業所、(大)茨城大学及び茨城県産業技術イノベーションセンターの共同体で開発を進めています。

### 5 中小企業IoT対応支援事業がスタート

10月から、日立市の委託を受けて、中小企業のIoT化への対応促進を目的としたIoT活用の手法及び効果の周知、IoTツールの導入支援を行っています。今後は、企業に対するIoT診断、IoTを活用した先進事例の創出、IoT活用に必要な技術者の養成に努めます。

## 6 受注顧客開拓では、受注件数、受注金額ともに増加

受発注コーディネーターが首都圏企業を訪問し、開拓した発注案件を地域中小企業に情報提供する事業です。平成30年1月～11月の総受注件数185件(前年184件)、総受注額2億3,856万円(前年2億2,271万円)で前年比1,585万円の増でした。新規受注についても、新規受注件数14件(前年10件)、新規受注額1,367万円(前年878万円)で前年比489万円の増でした。年度終盤に向けて引き続き努力します。

## 7 12年目を迎えた「ひたち立志塾」の活動

平成19年度に関満博一橋大学名誉教授を塾頭に迎え、11名の塾生とともに始まった若手経営者・後継者の「ひたち立志塾」は、今年、新たに8名の塾生が加わり、67名で活動しています。

特に、新規塾生の活動が活発で、10月には「燕三条 工場の祭典」に参加し、オープンファクトリーの取組の研究を行ったほか、11月には、島根県大田市の企業グループとの交流機会を持つなどしており、3月の成果発表会が楽しみです。



## 8 「魅せる『ひたちらしさ』体感事業」で多くの方が日立市のものづくりを体感

日立市の委託を受け、平成28年度から実施している「魅せる『ひたちらしさ』体感事業」は、東京圏から日立市への人と仕事の流れを創出することを目的に、ものづくり都市日立市のPR、企業見学ツアーやインターンシップの受入支援などを行っています。その結果、企業への就職者や日立市への移住を検討する方も出てきました。

## 9 ドイツとのビジネス交流4年目

平成29年にドイツ・バーデン・ヴュルテンベルク州の産業クラスターと締結した連携協力に関する覚書に基づき、1月にドイツ企業を招へいたほか、6月にはドイツの大学や企業の訪問調査を実施しました。今年も、ドイツ企業との業務提携を結ぶ日立地区の企業や日立地区への進出を決めたドイツ企業が出てきました。

## 10 次世代産業創出に向けた各種セミナー等を開催

経済のデジタル化やサービス化によって製造業を取り巻くビジネス環境が大きく変化する中、地域中小企業が次の一手を具体的に打つための気づき、きっかけづくりの機会とするため、次世代自動車セミナー、IoTツール・レシピセミナー、事業承継対策セミナーを開催したほか、産総研技術シーズセミナー・相談会を開催し、多くの参加をいただきました。

## ※ 本年、国の顕彰事業で選定された県北臨海地域の企業のご紹介 (50音順)

「はばたく中小企業・小規模事業者300社(経済産業省)」

・(株)エムテック、(株)三友製作所、(株)ヒバラコーポレーション

「地域未来牽引企業(経済産業省)」

・(株)茨城製作所、(株)今橋製作所、(株)岡部工務店、(株)カドワキ、(株)菊池精器製作所、(株)白土プリント配線製作所、相鐵(株)、(株)高木製作所、(株)ティー・エム・ピー、(株)西野精器製作所、(株)ヒバラコーポレーション、水戸精工(株)、(株)宮本冷機、(有)安物産 横関油脂工業(株)

### 【人事往来】

- 1 採用 南コーディネーター(H30.2.1)、藤波受発注コーディネーター(H30.4.23)
- 2 退職 宮内事務局長(H30.3.31)
- 3 異動 伊師主事は商工振興課へ、榎村係長及び荻谷主事がそれぞれ財政課及び商工振興課から、杉山事務局長が事務局長に(H30.4.1)